
私には関係ない

優彩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私には関係ない

【コード】

N8889C

【作者名】

優彩

【あらすじ】

あなたは「場面緘黙症」を知っていますか？

私には友達がいなかった。

友達がいなかったということは、寂しいとか、それ以前に困ることが多かった。

勉強でも何でも、自分以外の人間に頼ることができない。助けを求められない。

たとえば、数学の問題でやり方がわからなかったとする。

普通の緘黙ではない人だったら、頭のいい友達にでも訊けばいい。

私の場合、そんなことでできずにわからないところはずっとわからな
いままだった。

そのおかげで、数学のテストが0点だったこともある。

先生の大事な話を聞き逃すこともできなかったし、忘れ物なんかし
た日は一日中鬱。

小学生のころ。

みんなには当たり前のように友達がいて、漫画やドラマなんかに出てくる登場人物も当たり前のように友達キャラがいる。

何で私にはいないんだ？

私は何も喋らん変人だからか……

いなくてもいい。

友達なんかいなくていい。

友達なんかいなくても生きていける。

小学生のころ。

私はそう自分に言い聞かせていた。

机の周りに人が集まってくるような人気者を遠目に見ていた。

私は、あんなふうには絶対なれないんだ、と思った。

まるで別次元の世界。

私の世界とみんなの世界は違うんだ。

みんなにとっては当たり前な世界が、私にとっては全然当たり前な
んかじゃない。

友達と仲が悪くなった。喧嘩した。

そんな経験一度もない。

恋愛経験もちろんゼロ。

おしゃれも中高生のころは興味ないフリしてた。

就職なんかできるわけないと思った。

私にとっての学校生活は

『毎日、学校でトイレにさえ行けない生活』

『給食を昼休み中かかって食べる生活』

『風邪をひいたとき、咳やくしゃみを我慢し、鼻水が固まってきて呼吸が苦しくなる生活』

『みんなから服や腕をひっぱられて移動する生活』

『提出物を出すこともできない生活』

『みんなに見下されてバカにされる生活』

『上から目線で注意される生活』

「なんで喋らんとく？」って、訊かれる生活。

そんなこと私には関係ない。

そう思って、いろんなことを諦めた。

(後書き)

これ、ジャンル『エッセイ』でいいですかね？

最初『詩』にしてたんですけど、これ何気に実話なので『エッセイ』にします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8889c/>

私には関係ない

2010年10月21日21時20分発行